

## 公文書管理の在り方等に関する有識者会議（第2回）議事概要

1 日時 平成20年3月31日（月）18:00～19:30

2 場所 中央合同庁舎4号館共用第4特別会議室

3 出席者

（有識者・50音順、敬称略）

宇賀克也、尾崎護（座長）、加藤丈夫、加藤陽子、後藤仁、高橋伸子、野口貴公美

（オブザーバー）

菊池光興国立公文書館長

（政府）

上川陽子公文書管理担当大臣、山本明彦内閣府副大臣、戸井田とおる内閣府大臣政務官、坂篤郎内閣官房副長官補、山本信一郎内閣府大臣官房長、村木裕隆総務省行政管理局長、山崎日出男内閣官房公文書管理検討室長

4 議事次第

- (1) 開会
- (2) 国立公文書館制度の拡充等について
- (3) 自由討議
- (4) 閉会

5 議事の経過

◎国立公文書館制度の拡充等について、山崎内閣官房公文書管理検討室長から資料に従い説明の上、フリートーキングを行った。

◎フリートーキングでは、文書の作成・保存・保管・廃棄という文書のライフサイクルを通じた管理を適切に行うとともに、国立公文書館への移管を円滑に行うために、目指すべき公文書管理行政を担う制度官庁と国立公文書館の関係等について議論された。

◎次回は4月9日に開催とされ、有識者からのヒアリングを行うこととなった。

<文責：内閣官房公文書管理検討室（速報のため事後修正の可能性あり）>